

気仙沼市震災復興会議について（開催報告）

標記会議について、次のとおり開催しましたので、報告します。

- 1 日 時：平成25年1月19日（土）午前10時～午後0時15分
場 所：市役所3階会議室
出席委員：16名中12名（+市民委員会リーダー、サブリーダー）
- 2 議事内容
 - (1) 気仙沼市の復旧・復興の状況について
 - (2) 気仙沼市震災復興計画の進捗状況について
 - (3) 復興計画の推進体制と評価体制について
 - (4) 今後の復興会議のあり方について
- 3 主な意見
 - ・ 国の事業の枠組みの中でやれることしかできない状況にないか。創造的復興という観点から国・県に対して新しいメニューの要望を。
 - ・ 有効求職者数の数値が震災前に戻ったとのデータに関し、決して平時に戻ったということではなく、職を求める人が市外へ出て行ったとも考えられるのでは。水産加工業に関してみれば求職者数は遙かに少ない。業界自体も産業構造・従来のやり方を変えていかなければならない。
 - ・ 行政は予算や制度、枠組み、スキームにどう落とし込んでいくかの観点しか持っておらず、住民の立場に立って汗をかく職員が気仙沼市にはほとんどいない。住民の立場に立った復興を進めて欲しい。
 - ・ インフラの将来負担、10年後15年後の財政状況を懸念する。財政シミュレーションを行い、10年後に破綻しないまちづくりの観点を。
 - ・ 産業再生や雇用創出の遅れについて懸念。市の自己完結的な政策ではなく、民の力をもっと活用すべき。民と官をつなぐ中間支援組織、まちづくり会社等を入れ検討する場を持っていくことが必要
 - ・ 三陸の水産加工業は成長産業。冷凍技術の進歩や物流の高度化を迎え、また少子高齢化の中で、新しい商品開発の必要性を認識すれば将来は明るい。仮設工場での再生を図る加工業者に可能性を自覚させるような取組を。
 - ・ 震災復興推進フォーラムについて、組織に関しては正解はない。やると言うことを決めて、役割を考え、進めながら考えていくことで良い